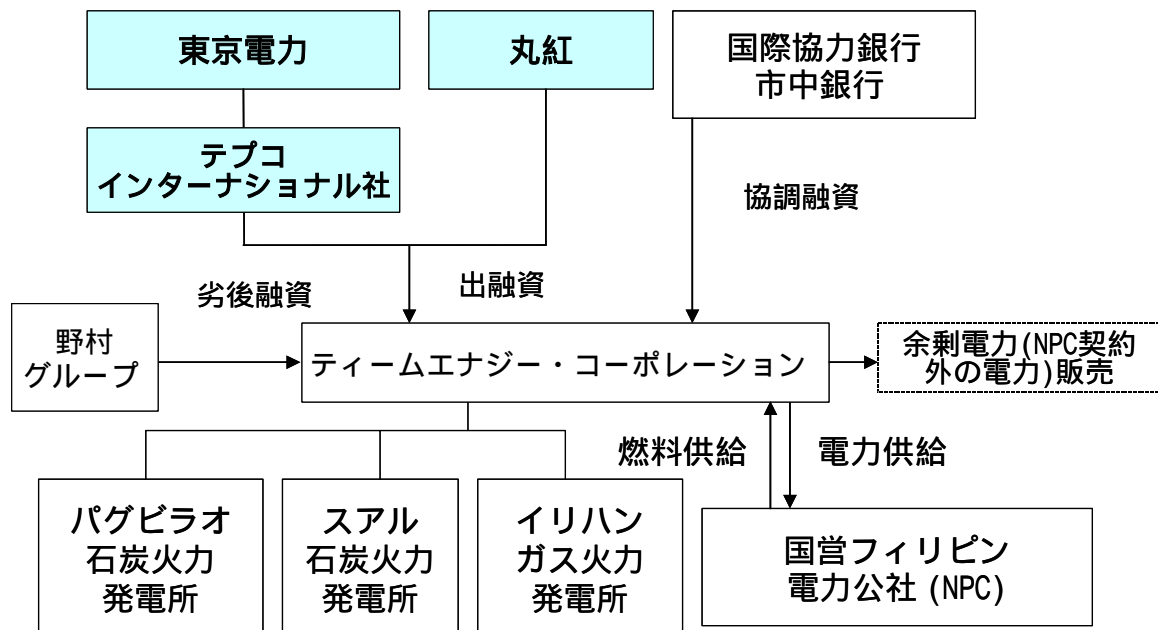


1. プロジェクト・スキーム図



2. ミラント・アジア・パシフィック社 (MAPL社) 買収の概要

(1)内訳

MAPL社買収額	3,424 百万米ドル
運転資金	150 百万米ドル

(2)資金調達

出融資 ^{*1}	750 百万米ドル
協調融資 ^{*2}	2,700 百万米ドル限度
劣後融資 ^{*3}	230 百万米ドル限度

^{*1} テプコ国際ショナル社と丸紅が50%ずつ出融資。

^{*2} 国際協力銀行および市中銀行(三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、カリヨン銀行(仏)、ING銀行(蘭)、オーストラリア・ニュージーランド銀行(豪))による協調融資。

^{*3} 野村グループによる劣後融資。劣後融資とは、一般に他の債務に比べて金利が高い代わりに返済順位の劣る融資のこと。

3. プロジェクト事業会社の概要

名称	ティームエナジー・コーポレーション ^(注) (TeaM Energy Corporation)
資本金	700 百万米ドル(予定)
株主構成	テプコ国際ショナル社 50%、丸紅 50%
社長兼 CEO	フェデリコ・E・プノ(元国営フィリピン電力公社社長)
保有資産(持分)	220.3 万 kW
従業員数	約 1,000 名(傘下の子会社を含む)

(注) 東京電力と丸紅は、昨年12月に、MAPL社の株式取得を目的に「クリムゾンパワー・ホールディングス」を設立済。平成19年中を目途に、同社を本プロジェクトの事業会社として「ティームエナジー・コーポレーション」へ改編予定。